令和２年度

人権教育全体計画

京都市立翔鸞幼稚園

・日本国憲法
・教育基本法
・子どもの権利に関する条約
・人権教育及び人権啓発の推進に関する法律
・人権教育の指導方法等の在り方について［第三次とりまとめ］
・幼稚園教育要領
・京都市人権文化推進計画
・**≪学校における≫人権教育をすすめるにあたって（平成 31 年度版）**

京都市の学校教育・目指す子ども像

伝統と文化を受け継ぎ，
次代を自らの未来を創造する子ども

保護者・地域の願い

・幼児期にしかできない遊びをのびのびと楽しんでほしい。
・地域の人や地域を大事に思ってほしい。

園児の実態

・家庭で愛情豊かに育てられている子どもが多い。
・素直で人懐っこく優しい。
・もまれる経験が少ない。
・自分で考え行動する力に個人差がある。

人権文化の構築（人権教育）

「人権文化」の息づく社会の構築を目指した人権教育の推進

子ども一人一人が，自分の良さや可能性を認め，お互いを尊重し，認め合い，協働しながら共に生きることの大切さを学ぶことを通じて，豊かな人生を切り拓き，持続可能な社会の担い手の育成を目指す

園教育目標　**「夢中になって遊ぶことを通して　自分の思いを伝え合い　人やものを大切にできる子どもの育成」**

人権教育の目標・学年重点目標

全学年　・互いのよさや違いを認め助け支え合いながら，自分も他の人も大切にする心を育むとともに，人とかかわる力を培う。

3 歳　〇教師との信頼関係を築き，安心・安定して園生活を過ごす。
〇周りの人を好意的に感じ，人への関心を向ける

4 歳　〇自分の思いを十分に出して遊び込み，自己肯定感を培う。
〇友達への愛着を深めていく。

5 歳　〇他者を思いやり，自分で考えて行動しようとする態度を身に付ける。
〇互いの思いや主張を通して相手の意見をよく聞き折り合いをつけるとともに気持ちを調整する力をつけ，友達と共同して遊びを進めるなど人とのかかわりを深める。

目指す子ども像

・遊び込む子〈主体性〉
・感動し表現できる子〈感性・表現力〉
・人やものを大切にできる子〈生命尊重〉
・思いをもち，思いを聞き，思いを話すことができる子〈言語力・コミュニケーション力〉
・自己調整力を高め，助け合う子〈社会性〉

人　権　研　修

〇　全教職員が人権意識を高め，人権教育の指導のあり方を研修するとともに教職員自らが人権尊重の理念や本市人権教育の目的～『人権という普遍的文化』の担い手の育成～について十分理解を深め，鋭い人権感覚を身に付け，人権尊重の態度を示すことにより，子どもたちが自らの大切さを認められていると実感できるような環境づくりに努める。

〇一人一人の子どもが大切にされ，良さを発揮して自己肯定感・自己有用感を高めると共に，子ども同士がそれぞれを認め合える力を育んでいけるようにする。そのために教職員が人のよいところを認める力と資質を高められるようにするとともに保護者にも人権を大切にした子育てについて啓発していく力量をつける。

〇困りを抱える子どもの実態や背景を把握し，合理的配慮や具体的な支援について研修を通して模索する。そのために専門機関とも連携をとりながら，正しい理解と認識を深めると共に，配慮の仕方やかかわりを共通理解し行動できる力を養う。

人権研修年間計画策定

目指す教職員像

〇　明るく元気で行動力ある教職員
〇　子ども・保護者・地域の方々から信頼され責任をもつ教職員
〇　子ども一人一人のよさや可能性を引き出し，子どもに寄り添った保育ができる教職員
〇　互いに認め助け支え合い，一人一人の持ち味を十分に発揮する教職員
〇　自己研鑽・資質向上に励み，努力を惜しまない教職員（子どものために汗のかける教職員）